

「母の日の (五月八日/日曜日) 声楽コンサート」

美しいミュージシャンの皆さんが、今年もやすらぎと思い出を贈ってくださいました。

女性の利用者様にはデイサービス八重桜から心が込められたカーネーションとグリーティング・カードをお贈りしました。

十一年在職の渡部ミカ介護主任をはじめ新人スタッフも「お母様たち」にお祝いの言葉をお贈りしましたが、みんな例外なく涙ぐんでしまいました。どのお方も本当のお母さんと重なって見えたのでしょうか。



ミュージシャンの皆様ありがとうございました。



グリーティング・カード、カーネーション、りんごのお菓子

コンサートのプログラムは全十九曲で懐かしい「花」に始まり、「ここに幸あり」「ふるさと」の最終曲へとあっという間の楽しいコンサートでした。



ソプラノ歌手 (左)

中谷 けい様

ソプラノ歌手 (右)

井上 若菜様

ピアニスト

福尾 正代様

「八年間のリハビリを始める

国宝——薬師寺東塔——がしばらく見られなくなりそうです。

元気を続けるために…

悠久の美を保ち続ける薬師寺東塔の姿は「凍れる音楽」と称されて、国宝に指定されている。奈良時代の建造物としては薬師寺に唯一現存する貴重な木造建築物ですが、大切な心柱が空洞化するなど傷みが激しいため、明治31年以来、約110年ぶりに解体修理が行われます。解体工事のための、いわゆる仮囲いや足場が構築されると、平成30年度までの8年間は東塔の外観を見ることができなくなる。

「残念だと思われる方も居られると思いますが、何百年に一回の修理期に立ち会えたことを「よかった」と思われることも楽しいことではないでしょうか。」

と、広報担当の前川敬氏に教えられて素直に納得いたしました。



東塔の修理には30億円近くかかるそうです。その内薬師寺は約7億円～10億円だそうです。写経をはじめ、各種お問い合わせは以下へお電話してご相談下さい。

法相宗大本山 薬師寺 TEL 0742 - 33 - 6001



大池からの薬師寺遠望
右側が東塔です

馳せ走る

食の匠

のひとりごと

西勝康

介護食に見えない介護食とは…

現在「介護食に見えない介護食」づくりを鋭意目指しているところですが、左に要点を上げると…。

一、食材の形はあるが唇や舌でつぶれるほど柔らかく調理する。

二、細かく切った食材は和えものや、掛けもの、流しものにして美しく仕上げる。

三、もともと柔らかい食材を使用するなどです。

また、出来るだけ献立の中に一品でも季節を感じてもらえるようにも考えています。桜のときなどは塩漬けの桜の葉のきざみを入れて香りをつけた葛でつくった緋色の桜豆腐であったり、色鮮やかなえんどう豆の翡翠煮であったり、筍ご飯に柔らかい筍の絹皮を使った若竹吸物を木ノ芽を吸い口にして、「春の息吹き」をいっぱい感じてもらえたら、と思います。

それに、もう一つ課題のきざみ食の排除だが、新規のご利用の方で「きざみ食」対応になっている方も当事業所では他の方々と同様の「介席膳」を何の問題もなくしっかりと食しておられます。喫食能力の正確な判定が望まれます。





デイガーデン八重桜では…

庭に花が咲き誇っています。
一度ぜひ見に来て下さい。

今年はずっと梅の苗を植えました。それに、花を終えた梅の木がきつと実を結ぶことでしょうか、そのあと梅干しにする計画ができています。

本誌の写真記者もガーデニングが好きだというので、大いに「コキ使わせて」いただくつもりです。

デイガーデン八重桜施設長／窪田 昌剛



ソシオエステティックの効用

ソシオエステティックは、その方の心の片隅に埋没していた意識を目覚めさせる機会になることがあります。お化粧は高齢者の方にとっては格別のものです。

「化粧」とは大人の女性の象徴でもあり、自分が一番キラキラ輝いていて、はつらつとしていた「あの頃」そのものでもあるのです。時には、社会を卒業したような気分になってらっしゃる方も、お化粧することで素敵な笑顔に変身するのは、今まで「歩んできた道」楽しく懐かしい思い出の鏡に映る笑顔なのかも知れません。

ソシオエステティシャン 李清美



加藤 壽美江様

接遇小委員会の活動が活発です

人と人との関係において成立する接遇概念は、接し遇する「側の気持ちや論理は問題ではなく、介護の世界では利用者様が「何を望んでおられるか」を把握・認識することが第一であり、仕事の進め方はもとより、何よりも意識の変革が必要だとして取り組んでいます。モットーは、単純ですが、結局は「利用者の方がたの立場でサービスを考える。」と、帰結しております。



上段右から 下段右から

中川 雅義

川田 優

山田 栄希

委員長

森田 浩介

倉島 雅伸

渡部 ミカ

俳句教室発表句

(敬称を略します)

紫の藤棚仰ぎ風薫る

北 ヒデノ (藤棚の下の涼しげな日陰…。気持ちよさそうですね。)

草もちを食べて春を知る

田中 智重子 (草もちの香りがいいですね。)

茶摘み娘青い葉に白い手ぬぐい

阿野 富美恵 (新茶の香り。おいしいお茶が飲みたくなってきました。)

お茶摘みのかすりの着物たすきがけ

吉岡 トミエ (茶摘みの歌の情景が目につかびますね。)

五月晴れ友と語りて春日山

深井 ちる子 (爽やかな空の下で話もはずみそうですね。)



塩田 智美 (俳句教室担当)



お地蔵さん／作陶1月・完成4月



鯉のぼり／作陶3月・完成5月

陶芸教室講師
藤本 なつ子 先生



無心が大地から掘り起こした無垢の祈り

祈りを…

デイ&ナイトサービス八重桜・陶芸教室作品

作者・山田 静子様

(通所歴8年)

世界にひとつだけのもの 藤本 なつ子

「陶芸」というと、むつかしそうに思われがちですが、「デイ&ナイトサービス八重桜」でやらせて頂いている私の思いは、「みんな一緒に、楽しく、物をつくりたい…」という一点です。そのわけは、誰にでもできる大好きなことを、気楽に楽しくやるのが健康の秘訣だと思っているからです。

自然の土にさわり、冷たさや、べとべとした柔らかい土の感触を味わい、また土の匂いを感じたりして粘土を指先で造形していくことも、限りなく人間の五感を刺激して、脳を若々しく活性化させ、高齢者特有の認知症の予防にはもってこいだと、体験的に私自身が実感しているところです。

陶芸の良さはまた、一つの作品を作る過程で時間をかける点でしょう。粘土をこね、ひねり、乾燥させ、窯に入れ焼き、そして取り出す。時には数カ月かかる場合もありますが、出来上がった「世界にひとつだけの」作品と対面したときの皆さんの嬉しそうな満面の笑みに触れる時が私にとっても一番うれしい瞬間です。

そんなわけで、私は利用者様が楽しく土に触れられて、気楽に取り組んでいただけることを最優先にして、私自身も楽しみながら、これからも「陶芸」をしていきたいと思っています。



君子蘭が咲きました。

デイ&ナイトサービス
八重桜のガーデニング
もがんばっています。

八重桜の掲示板

デイハウス 八重桜

6月です。色とりどりの『紫陽花』がデイハウスに咲いています。このところウーマンパワー爆発のデイハウスですが、容姿・年齢にこだわらず元気な昔の少年、お待ちしています。おかげさまで今日もデイハウスは元気です。



西岡 真由美



「このほり」タペストリー
北 ヒデノ様（通所歴 11年）

デイ&ナイトサービス 八重桜

5月の母の日には利用者様にカーネーションをプレゼントさせていただきました。「自分の娘もくれへんのに、八重桜さんから貰えるなんて感動やわ!」と涙ぐむ方もおられ、その姿にこの仕事のやりがいを改めて感じました。。。
6月は父の日です。プレゼント思案中です。どうぞお楽しみに!

小規模通所介護

デイガーデン 八重桜

気候もよくなり、日中、ご利用者の皆さんとお庭に出られる機会が増えました。
さつきが終わり、つつじが咲き始めています。
ミニトマトの苗も植えました。成長が楽しみです。

居宅介護支援事業所 八重桜

日中暖かくなったとはいえ、朝晩冷え込んでいます。よく晴れた日は黄砂が飛び、のどや目が気持ち悪くなります。こんな時は是非、うがいや手洗いを行っていただければよいと思います。また、体調を崩しやすいので、身体を温めてください。もちろんお風呂はもってこいです。温泉なんか最高ですがなかなか行けませんので、近くのデイサービスに行けたらいいです。是非身体を温め、ゆったりとした気分で1日過ごすのもいいかわかりませんね。

デイサービス 八重桜

6月は梅雨の季節ですね。雨の日は気分も憂鬱になりがちですが、雨の中でひと際色とりどりの紫陽花が沈んだ心を優しく包んでくれるように思います。父の日の6月。紫陽花のように優しくいつまでも元気でいただけるように、八重桜のお父さん方を父の日にお祝いしたいと思います。ぜひ、皆様お越し下さい。

ステイケア 八重桜

衣替えの季節。寝具も肌布団にかわり過ぎやすくなっています。ご本人の様子や体調に応じて、細やかな心配りをさせていただきます。スタッフ一同、皆様のお越しをお待ち致しておりますので、お気軽にお声をおかけください。

生活に必要な情報をお届けしてまいります

リハビリテーションは正しい理解から…!

平成18年度より介護予防が制度化されたこともあり、デイサービスや多くの介護事業所でリハビリテーションが実施されています。が、しかし一般的にその解釈においては機能向上訓練と捉えられていることもあって「筋力の強化訓練」に終始しているのが実態のようです。



当施設：八重桜で目指すリハビリテーションは「筋力の強化」ではなく、「生活活動力の維持・向上訓練」を目標としています。例え年齢的に身体機能が横ばい又は低下していく場合でも、個人の生活活動に直接働きかける「活動力向上訓練」によって活動性が向上し、社会参加の機会を増やし、結果的に個人の生活の質（QOL）を向上させます。今後とも虚弱高齢者ならびに要介護者の皆様に正しい「活動力向上訓練」のご指導と機会提供をしてまいりたいと考えております。

中山鍼灸整骨院 中山 稔夫
<再掲>

月に帰ったかぐや姫―①

坂田 護

竹から生まれたかぐや姫は大きくなって多くの男性に求婚される。しかし、とうとう誰とも結婚しないで不老長寿の薬を残して、お供にせかせせられながら月へと帰ってしまう。まっことロマンティックなお話だが、やはり古代の日本人の確かな記憶が原点にあるのだろう。

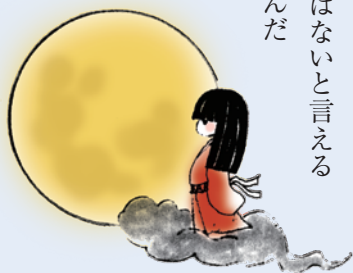
拙著『鼎の国・日本古代国家の実相』（海鳥社）が説く最も重要な論考は、古代では大和三山の畝傍山には日神（太陽神）系の神（氏族）が、耳成山には月神系が、そうして香具山には火神（もとは水神）系がそれぞれの山をシンボルにして依拠して、三神鼎立国家をつくっていたという指摘である。

「かぐや姫」と名付けられて、月へ帰ったという話の流れからは、次のように推考できそうである。

この姫を竹から取り上げて育てたおじいさんとおばあさんがこの女兒を「香具夜姫」と名づけたからには、老夫婦は香具山（火神系）に依拠した氏族だったと言えることになる。とすると、この姫は香具山へ嫁入りするべく月神の耳成山からやって来たお姫さまだったと疑えることになる。すなわち、香具山で成長した姫は、香具山系の男性を好きにはなれなくて、月神の山であるところの耳成山である父母のいる「月の世界」へと帰った。此の古代の記憶が『竹取物語』というたぐいまれなる名作を生んだと言えるのかも知れない。

このような推考が、荒唐無稽ではないと言える確かな根拠がある。天智天皇の詠んだ「大和三山の歌」とそこに生まれた文化が私たちに教えてくれる。

つづく



社員投稿欄

姪の成長

富森 千賀子

先日のゴールデンウィークに姉家族が帰省し、もうすぐ二歳になる姪と久し振りに再会しました。まだ上手に会話はできませんが、「パパ」「ママ」は言えるようになりました。ダダをこねる時には「なんでよー」と怒って困らせてくれます。大人のすることをマネしているのでしょう。仏壇に手を合わせて「なむ、なむ」と言ったりもします。そうかと思えば、とにかくやんちゃで周りの年上の子供達にも「負けるものか」という勢いでついてゆき怪我をすることも時々あります。

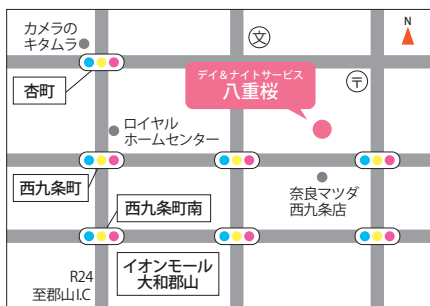
ですが、大きな病気もせず、元気でいてくれることが何よりも嬉しいです。姪の成長が今の私の一番の楽しみです。

このように、この原稿を書き終えようとしたら、仕事を済ませた同僚が横にやって来て、「姪のことも結構だけど、自分の結婚と未来の子どものことも考えてみては……?」と、おせっかいな一人。



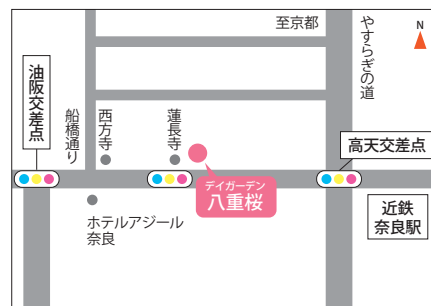
- 公的介護保険指定事業
 デイサービス八重桜（一般通所介護）
 デイハウス八重桜（認知症対応型通所介護）
 居宅介護支援事業所 八重桜
- 自主事業 ステイケア八重桜（短期宿泊所）

〒630-8113
 奈良市法蓮町410番地の2
 TEL:0742-20-7205 FAX:0742-20-7201



- 公的介護保険指定事業
 デイ&ナイトサービス八重桜
 （一般通所介護）

〒630-8453
 奈良市西九条町2-4-3
 TEL:0742-63-5670
 FAX:0742-50-0277



- 公的介護保険指定事業
 デイガーデン八重桜
 （小規模通所介護）

〒630-8247
 奈良市油阪町423
 TEL:0742-93-9080
 FAX:0742-93-9081